

「いわての学び希望基金」への寄付について

株式会社ベルプラス

日頃より、ビッグハウス、ベルプラス各店をご利用頂きありがとうございます。

この度、弊社では岩手県が創設した「いわての学び希望基金」に対し、協同組合ベルセンターと共同で1,000万円(500万円ずつ負担)の寄付を行なうこととし、去る8月30日に岩手県庁復興局廣田副局長あて目録の贈呈を行ないました。

3月11日の東日本大震災津波により、県内では多くの子ども達が親を失いました。今現在、判っているだけでも両親を亡くされた孤児が91名おり、その他、片親を亡くされた子ども達も450人を超えているとのことです。岩手県ではこうした子ども達の「暮らし」と「学び」を支えるため、特別の基金「いわての学び希望基金」を創設しました。県ではこの基金を原資として、大震災津波で親を亡くした未就学児童から大学生等までの子ども達を対象に返還の必要のない給付型の奨学金を支給することとしています。

弊社といたしましては、この様に今後20年以上におよぶ息の長い給付事業への支援として、来年度以降は、弊社ベルプラスとエスビー食品様が中心となって毎年行っている「ベルカップS&B杯ちびっ子健康マラソン大会」の開催の度(例年9月開催)に、その年の参加者一人につき1,000円の寄付を行なうことといたしました。来年3,000人が参加したとすると300万円を同基金に寄付させて頂くこととなります。

私たちベルプラスもこの大震災では数々のお取引先様や同業のお仲間の皆様から手厚い支援と心温まる激励を頂きました。地域に根差す一企業として、私たちもささやかながら出来る範囲の社会貢献を継続して行っていきたく切に願っております。

基金の詳しい説明は岩手県庁のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.iwate.jp/~bousai/jyouhou/volunteer.html>)



県庁にて廣田副局長を囲む遠藤(協)BC
理事長(弊社会長)と弊社澤田社長(左)



今年のちびっ子マラソンの開会式において遠藤会長より「学び希望基金」への寄付について説明がされ、「来年も是非多数のご参加を！」との呼び掛けがされました。